【実行団体用】

事業完了報告書

提出日：2023 年 4 月 10 日

１．事業概要

（1）実行団体名：特定非営利活動法人 ABC ジャパン
（2）事業名：移民 2 世・3 世のキャリア形成に向けた青少年未来創造事業――「多文化・多世代共創拠点」を目指して
（3）事業実施期間：2020 年 4 月～2023 年 3 月
（4）資金分配団体名：公益財団法人日本国際交流センター

2. 規程類の整備・運用実績

いずれかにチェック☑をつけていただき、項目ごとの設問に回答してください。

（1）事業期間に整備が求められている規程類の整備は完了しましたか。
☑ 完了 ／ ☐ 整備中
→上記で「整備中」を選択した場合、整備できていない理由を記載してください。また、事業開始時と比較して、整備状況が改善された点を記載してください。
（2） 整備が完了した規程類を自団体の web サイト上で広く一般公開していますか。
☒ 全て公開した ／ ☐ 一部未公開 ／ ☐ 未公開
→上記で「一部未公開」または「未公開」を選択した場合、その理由と公開予定日を記載してください。
（3） 変更があった規程類に関して JANPIA に報告しましたか。
☐ 変更があり報告済 ／ ☐ 変更があったが未報告 ／ ☑ 変更はなかった
→上記で「変更があったが未報告」を選択した場合、その理由を記載してください。

3. ガバナンス・コンプライアンス体制の整備・運用実績

いずれかにチェック☑をつけていただき、項目ごとの設問に回答してください。

（1） 社員総会または評議員会、理事会は、規程類の定めるとおりに開催されていますか。
☑ はい ／ □ いいえ
→上記で「いいえ」を選択した場合、その理由を記載してください。
（2） 内部通報制度は整備されていますか。
☑ はい ／ □ いいえ
→上記で「はい」を選択した場合、設置方法を以下から選んでください。（複数選択可） ☑ 内部に窓口を設置 ／ □ 外部に窓口を設置 ／ ☑ JANPIA の窓口を利用
（3） 利益相反防止のための自己申告を定期的に行っていますか。
☑ はい ／ □ いいえ
→上記で「いいえ」を選択した場合、その理由を記載してください。
（4） 関連する規程類や資金提供契約の定めるとおりに情報公開を行っていますか。
☑ はい ／ □ いいえ
→上記で「いいえ」を選択した場合、その理由を記載してください。
（5） コンプライアンス責任者を設置していましたか。
☑ はい ／ □ いいえ
→上記で「いいえ」を選択した場合、その理由を記載してください。
（6） ガバナンス・コンプライアンス体制の整備や強化施策を検討・実施しましたか。
□ はい ／ ☑ いいえ
→【任意】上記で「はい」を選択した場合、どのような検討・実施をしたか事例を記載してください。
（7） 団体の決算書類に対する会計監査はどのように実施しましたか。本事業の最終年度の状況を選択してください。（実施予定の場合を含む）
□ 外部監査 ／ ☑ 内部監査 ※（複数選択可）
→上記で外部監査／内部監査を選択した場合、その実施者/実施時期を記載してください。 実施者：美濃羽眞一（美濃羽税理士事務所）／実施時期：５月（予定）

（8） 本事業に対して、国や地方公共団体からの補助金・助成金等を申請、または受領していますか。
☐ はい ／ ☑ いいえ

4. 広報実績

いずれかにチェック☑をつけていただき、設問に回答してください。

（1）シンボルマークの活用状況
☑ 自団体のウェブサイトで表示している ／ ☑ 広報制作物に表示している ☐ 報告書に表示している ／ ☑ イベント実施時に表示している ☐ その他 →「その他」を選択した場合は記載してください （自由記述）：

最終年度の広報実績について記載してください。

広報種類	有無	内容
メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB 等）	無	
広報制作物等	有	・印刷物『就職ワークブック』2023 年 3 月 31 日発行・200 部／データは団体サイトから無料ダウンロード可能 ・印刷物：『継承ポルトガル語教材―入門』2023 年 3 月 31 日発行･300 部／データは団体サイトから無料ダウンロード可能 『継承ポルトガル語教材―日ポ・イラスト語彙辞典』2023 年 3 月 31 日発行・300 部／データは団体サイトから無料ダウンロード可能 ・デジタルチラシ 「JLPT オンライン日本語教室」 「ルーツの言葉＆文化を学ぶ教室（ブラジル）」 「青少年のための心理カウンセリング」 「外国につながる中学・高校生と若者のための教育フェア」 「共生・共育多文化フォーラム」 「WEB 日本語講座」 「WEB 電気工事士試験対策講座」
報告書等	無	

5. その他（本助成を通じて組織として強化された事項や新たに認識した課題、今後の対応/あればよいと思う支援や改善を求めたい事項など、自由にご記載ください。）

本助成事業期間は、コロナ禍という想定外の社会変化が起こったが、オンライン実施という新たな方法を展開し、より広くより多くの支援を必要とする層に事業を届けられるようになり、組織として今後につながる大きな力となった。

多様な領域の団体との連携により、実行可能な事業が広がっただけでなく、教育フェアなどの取り組みもより効果的に実施できた。今後は本事業で得た他団体とのつながり・ネットワークを活かし、事業内容や運営体制をブラッシュアップし、領域を跨いだ連携体制の構築を進めたい。

新たに認識した課題としては、外国ルーツ青少年がいつでも集まり相談できるサポートステーション（居場所）の必要性である。より多様な進路の可能性を若者本人だけでなく保護者にも丁寧に示し家族全体で考えていけるようにする場を設け、個々の課題に対する支援を点で終わらせることなく一人ひとりのライフステージに応じたサポートを展開し、情報提供だけでなく具体的に進学や就労に結びつけられるようにしていきたい。

【添付資料】

活動の様子がわかる写真　5枚程度

JANPIA の事業報告書や WEB サイト、SNS 等で公開可能な写真を 5 枚程度（1 枚 2MB 以下）ご提出ください。（肖像権・著作権に十分にご注意ください。）

それぞれどんな場面の写真なのか、1 枚あたり 50 字から 200 字程度で説明を記載していただきますようお願いいたします。

※ご提出をもって JANPIA での使用にご了承いただいたこととし、使用時に改めて確認はいたしませんので、ご承知のうえ、使用に差支えのない写真（使用許可をとった写真や個人が特定される写真を避ける等）を選んでいただきますようお願いいたします。

●添付写真の説明

①先輩・後輩交流会
先輩・後輩交流会の様子。フリースクールの生徒たちが高校入試を一か月後に迎える時期に、フリースクール卒業生の高校１～３年生の先輩を呼んで、後輩に受験の心構えやアドバイス等を話したり、質問や相談を受けてもらう機会を設けた。

②母語・母文化を学ぶ教室
日本生まれや日本育ちのブラジルにルーツを持つ子どもたちを対象とした母語・母文化を学ぶ教室の様子。子どもたちが手にしているのは、ブラジルの国民的人気漫画の雑誌。こうした教材も活用しながらブラジルの言葉や文化を学んだ。

③オンライン日本語教室
全国のブラジル学校の卒業生や非正規雇用で働く若者等を対象としたオンライン日本語教室の様子。オンライン実施のため、参加は全国各地から。キャリアアップに結び付く JLPT 合格を目指す授業を行った。

④キャリア支援相談会
企業や職業訓練校、外国ルーツの先輩、地域の高校を巻き込み、就職に特化して実施したキャリア支援相談会の様子。全体会では様々な職業や進路に関わる情報提供を行い、後半の個別相談会へとつなげた。

⑤教育フェア
高校・大学進学、キャリアガイダンスを 1 日にまとめた形で実施した「教育フェア」で、大学生、専門学校生、社会人の外国ルーツの先輩たちの話を聞くコーナーの様子。手前は 4 言語の同時通訳者のブース。約 120 人の参加者があり、全部で 20 の大学、専門学校、職業訓練校、企業等の個別相談ブースが出展。

⑥フードパントリー
コロナ禍による解雇等で困窮する外国人家族への食料支援を行うフードパントリー事業で、市民や企業の寄付やフードバンクの協力を受けて事務所に集まった食料品の数々。団体サイトの 4 か国語対応申込フォームに寄せられた情報を元にして、家族構成に合わせて箱詰めをし、全国の 400 以上の外国人家族に送付。

SENSU
ABC

NPO法人ABCジャパン
外国人コミュニティの
交流・ネットワークづくり、相談対応・情報提供、子ども
被災地支援等の活動を行っているNPO団体です
STOP COVID-19! EVITE!
Cadê
o tomate?
o melão?
a uva
está
do copo
1908
TURMA DA Mônica
Multilingual Support Center Kanagawa

NPO法人ABCジャパン
NPO ABC JAPAN
Ayana Saito

教育フェア

ESCOLAS
EM TEMPO
DE COVID-19
五目ご飯
2020.09